

授産施設つばさ・小規模授産施設フレンズくろゆり予定

7月
2日(日) 本光寺朝市出店
7日(金) 夕暮れコンサート
9日(日) 食彩市場出店
22日(土) 喫茶営業

8月
6日(日) 本光寺朝市出店
13日(日) 食彩市場出店
26日(土) 喫茶営業

9月
3日(日) 本光寺朝市出店
9日(土) 喫茶営業
10(日) 食彩市場出店
23(土) 喫茶営業

小規模通所授産施設フレンズくろゆり予定
月1回JAあぐり出店、自然食品の店のっぽくん出店
自治会行事
月1回 カラオケ
特別行事企画

地域生活支援センターなごみからお知らせ

7月
13日(木) 散歩サークル
15日(土) 調理教室
18日(火) カラオケサークル

8月
10、11日(木、金) 全館ワックスがけ
14日(月) 調理教室

9月
8日(木) 散歩サークル
19日(火) カラオケサークル

ヨガサークル、買い物サークルも毎月
予定しています。お問い合わせの上、
お気軽にご参加ください！

青葉会からお知らせ

7月
20日(木) うな丼の会

...徒然なるままに...

いつかは...
私は今、自分の体形が少しづつやせてきているのにびっくり！なごみの郷に行くと「さっちゃん、少しやせんだ～？」ってよく言われます。ロングだった髪の毛もぱっさり切ってイメージチェンジ！いつかはモデルさんみたいにカッコイイGパンをはきたいヨ～！

加藤 幸子

(望野貴奈子)

山岸

無事でと祈る

今日も一日 散歩道

朝日が顔出す

犬連れて

<編集後記>

沢山の人に読んでもらえる
通信作りに努めたいと思
います。

h・k

編集人：社会福祉法人 なごみの郷

連絡先：〒923-0851 石川県小松市北浅井町123

TEL 0761-23-7232/FAX 0761-23-7284

E-MAIL iruka@d4.dion.ne.jp

ホームページアドレス URL <http://www.h7.dion.ne.jp/~na-go-mi>

発行人：北陸障害者定期刊行物協会（富山市今泉312）

定価50円

増刊HSK
なごみ通信

今月の花：紫陽花



No. 28 2006. 7

教えて！典子先生 PART1

これまで『なごみ通信』では、「なごみの郷ってどんなところ？」というテーマで、地域の方の声、なごみの郷利用者の声をお届けして参りました。今回は、「精神障害」「精神障害者」についてよく耳にするうわさや素朴な疑問についての「本当はどうなの？」をお伝えしたいと考えました。

そこで、医療法人社団澄鈴会栗津神経サナトリウム副院長の秋山典子先生にお伺いしました。先生は、大変お忙しい中、たくさんの質問に大変丁寧に、気さくにお答えくださいました。

その内容を、今号と次号の2回シリーズでお届けします！



秋山先生(中央)と取材班

- 事件を起こす犯人に精神障害者が多いくらいですか？**
いいえ、むしろ少ないくらいです。「精神科に通院歴がある人＝犯罪者」といった間違った報道が不安や偏見を増やして、病の自覚のある人の早期治療の妨げになってしまいます。むしろそのことで犯罪者を増やしてしまうことが一番恐れるべき事です。
- 精神障害者には怖い人が多いですか？多くの方と触れ合っていらっしゃる先生の体験からお答えください。**
怖くはありません。病の治療をしていない時、症状が変わる時に不可解な言動など思うことがあります。それも病気のせいなので、その人自身が怖いという事はありません。
- 知的障害と精神障害とはどう違うの？**
知的障害は生まれた時から知的機能が落ちている事を言います。精神障害は、ある時期にストレス等により病気になって起こるものです。
- 先生はいつもどんな思いで精神障害の方達と接していますか？**
「病気を憎んで人を憎まず」。どんな症状も病気から起きたことで、その人から起きたことではありません。早く社会生活に戻って、例え病気があっても「生きてて良かったな」と思って欲しいと思います。また、いろんな可能性があるということを患者さんからたくさん教わっています。

次号に続きます

青葉会へ いらっしゃ~い!

青葉会は、「精神障害者的人権を守り、助け合って自活能力を高め、人間として生きていくために社会参加の機会を広げる」とあります。みんなで楽しめますという趣旨に変わりつつあります。小松能美地区に在住する精神障害者と、なごみ及びくろゆりに通うメンバーとありますので広く会員を募集しています。賛助会員も合わせて募集中ですのでどうぞ宜しくお願ひ致します。

活動としては、先日、哲代という焼き鳥屋に行って大変盛り上がりました。今後の予定として、7月20日の土用の丑の日のPM6:00からなごみでうな丼を腹いっぱい食べよう！という企画もありますし、その他にもバーベキュー、クリスマス会など面白いものを企画ししていく予定です。

その為には、定例会で発言してくださる方が必要です。毎月第4火曜日のPM1:00からなごみの郷地域交流室で行っていますので、一度参加してみてください。是非に・・・！

青葉会代表 米田 徹

なごみの郷“苦情解決”第三者委員がやってくる！

昨年の7月に、“苦情解決”第三者委員について説明会を開き、皆さんに私たちの役割を知ってもらいました。その後月1回の訪問をおこない、1年間がすぎようとしています。私たちにとっても初めての活動で、相談に来られたすべての方が満足されたとは思っていません。なごみの郷が皆さんにとって心地よい居場所になるようにできる限りの努力をし、細く長く続けていくつもりです。

苦情box(箱)に備えつけてある苦情メモは書きにくいというご意見があり、アドバイスをいただきました。アドバイスをいただいた方、ありがとうございます。こちらでも考えて、5月から『苦情・相談メモ』として変えてみました。使ってみてください。

苦情解決第三者委員：竹内とし子、北岡和代



理事長のひとりごと



百歳が古希になる時代が来る

日本では、百歳以上の人�数は1963年（昭38）：153、1974年：527、1981年：1072、1994年（平6）：5593、1998年：10158、2004年：23038と急増し、「古来、稀なり」であった70歳=古希の定義が百歳以上になるのも遠くはない。詩人サミュエル・ウルマンは80歳の時、「青春」と題する次の詩を書いた。「若さとは人生の一時を云うのではない。それは心の状態を云うのだ。人は信念とともに若く、疑惑とともに老いる。希望の限り若く、失望とともに老い朽ちる」。（参考：「こころとからだの救急箱②」）

木村 正行



なごみ祭り 盛大に開催されました

地域の皆様・各種団体の方々・ご支援ご協力ありがとうございました！

声・声・声



皆さんからの提供品、花苗、ご寄付をいただき有難うございました。又作品発表にはすばらしい竹細工、手芸、その他の出品があり、値札つけ、飾りつけ、販売、テント前での久しぶりに合う会員のおしゃべりなど、交流の場になりました。又、晴天に恵まれ、今年は特に11時開始前から多くの子供さんの姿が見られ、子供コーナーの前では楽しそうな笑いが一段と大きく、嬉しい光景が見られました。地元の松陽中学校のプラスバンドの演奏には、演奏者以外の部員（1年生）の手拍子も加わり、指導された女の先生の素敵な指揮が、演奏を一層盛り上げてくれました。

くろゆり会会長 木村 和子

お子様コーナーの所が面白そうでした。フリーマーケットは、もう少し早めに行くべきだった。人形劇は、もう少し時間が早い方が良かったと思います。

野田 幸子

盛況だったなごみ祭り

メンボラ友の会 佐渡 稚春

Bチームは、花、野菜、健康茶を販売しました。花は例年通り、山口さんがお世話され、ひまわり、なでしこを花束に作り、野菜は家庭菜園でつくられた新鮮な品を持ち帰り、健康茶は、家宅さんが採集、乾燥された、柿の葉、笹、ドクダミを細かくし、ハブの実をブレンドし袋詰めし、100円～200円の価格で、並べました。11時の開場待ち遠しく、大勢の方々が来られ早い内に完売しました。お天気に恵まれ、松陽中学校のプラスバンド演奏も、素晴らしい、盛り上り、なごみ祭りは盛況でした。地域の皆様に心から感謝申し上げます。

石本外志彦

フライドポテトは楽でした。作ってもらったのを券をもらって渡した。でもまだできなかったとき人に待ってもらっていました。でも楽しかったです。

北森 寛

今回も実行委員長をさせていただいて、開式前のあいさつでは20年前の事故から今日までのおおまかな経緯を言わせて頂いたのですが静寂の中に、大きな笑いあり！狙いどおりに行った事に感謝しております。なごみ祭そのものも、順調に事が運んでよかったです。去年はプラスが中止になった為、人数は少なめでしたが、本年は天候も良く、プラス演奏が出来たこともよかったです。

青葉会実行委員長 米田 徹

